

2025年6月から義務化！職場での熱中症予防を始めましょう

厚生労働省は、職場での熱中症の重症化を防ごうと、熱中症対策を企業に義務付ける方針を決定しました。

WBGT値(熱中症指数)の管理や職場環境の改善が求められ、違反時には罰則が科される可能性もあります。

対策義務化の対象は、**WBGT値が28℃以上、または気温が31℃以上**となる環境下で、以下の作業に該当する場合が対象です。

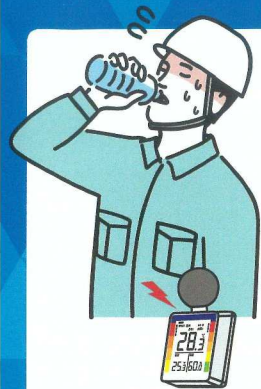
① 継続して1時間以上行う作業の場合

② 1日あたり4時間を超える作業が想定される場合

「WBGT値の見える化」を行うことで、適度な休憩や水分補給を意識づけ出来るので熱中症予防に繋がります。

	死傷者数	死亡者数
2019年	829人	25人
2020年	959人	22人
2021年	561人	20人
2022年	827人	30人
2023年	1,106人	31人
2024年	1,195人	30人

※厚生労働省「令和6年 職場における熱中症による死傷災害の発生状況」より

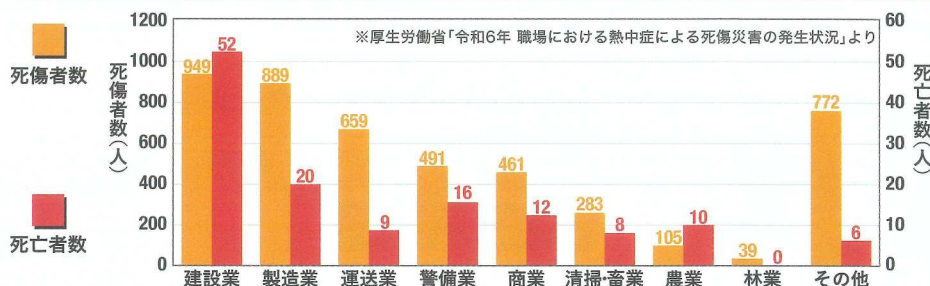


熱中症指数(WBGT)とは…

熱中症を予防することを目的とした単位です。単位は摂氏(℃)が用いられますが、その値は気温とは異なります。

- ①湿度 ②周辺の熱環境(輻射熱)
③気温 の3つから算出されます。

熱中症による死傷者数の業種別の状況(2020~2024年計)

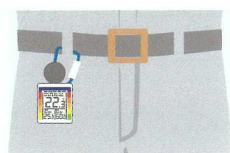
黒球付小型熱中症計
MT-877

ネックストラップ
アームバンド
カラビナ標準付属

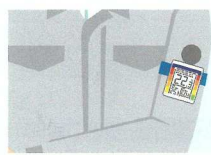
標準の付属品を使用して様々なシーンでご利用ください。



ネックストラップ



カラビナ利用



アームバンド



希望小売価格
6,000円(税別)

JANコード
4986702304065

熱中症予防対策、労働環境等の安全管理に

熱中症の要因である気温・湿度の測定、日射や輻射熱も考慮できる黒球式を採用した熱中症対策温度計です。

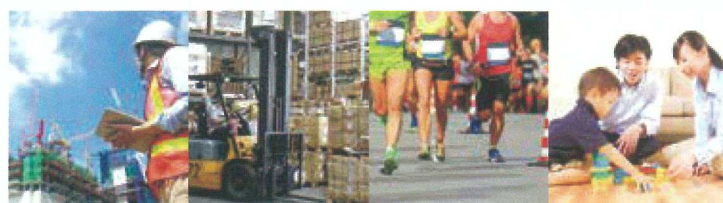
JIS B 7922:2023 クラス2適合

3種類のアラームを選択できます。

- ①身体作業強度(厚生労働省)
②日常生活の予防指針(日本生気象学会)
③運動の予防指針(日本体育協会)

MT-877は室内、室外、衣類の種類、作業や運動内容を設定することによって、熱中症の危険性をWBGT表示とアラームでお知らせします。

予防指針 (3種類から選択)	身体作業強度等に応じたWBGT基準値 (+衣類の組合せによりWBGT値に加えるべき補正值) 日常生活における熱中症予防指針 / 熱中症予防運動指針
温度	表示範囲 0.0~50.0℃ 分解能 0.1℃ 精度 ±0.6℃ (20.0~50.0℃) 左記以外 ±1℃
湿度	表示範囲 10.0~95.0%RH 分解能 0.1%RH 精度 ±5%RH (30.0~90.0%RH, 20~30℃) 左記以外 ±7.0%RH
WBGT	表示範囲 0.0~50.0℃ 分解能 0.1℃ 精度 ±2.0℃
黒球	温度範囲 0.0~80.0℃ ※表示機能なし 分解能 0.1℃ 精度 ±0.6℃ (20.0~50.0℃) 左記以外 ±1℃
サンプリング	約20秒/回
警告アラーム	ブザー: 75dB/OFF LED: ON/OFF
アラーム時間	15秒 (ブザー/LED/ブザー+LED/OFF)
規格	JIS B 7922:2023 クラス2 準拠
使用環境	温度: 0~50℃ 湿度: 0~90%RH (結露無きこと) 風速: 0.3m/s以上
機能	最大値/最小値表示、電池交換表示、室内室外モード
表示文字高	約17mm (WBGT値表示部)
寸法	本体: 65(W)×117(H)×25(D)mm (黒球突き出し部およびバンド通し含まず) 黒球: 40(Φ)mm
重量	約105g(電池含む)
電源	単4形アルカリ電池×2 (電池寿命: 約6か月)
付属品	単4形アルカリ電池×2、アームバンド、カラビナ、ストラップ、取扱説明書



※仕様および外観は改良のため予告なく変更することがございます。予めご了承ください。
※地上から1.2m以上の高さで測定してください。
※風速が0.3~3.0m/s以外るとき、WBGT値に誤差が発生する場合があります。